



日本の障害者の優れた文化芸術の
国際的評価を検証し発信する全国巡回プロジェクト

～見聞 2017 ジャパン×ナント プロジェクトの全貌～

「本プロジェクトは、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、平成29年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査として実施しています。」

アーティストが語る障害者の芸術表現の魅力 ～アール・ブリュット、その源流を辿る～

1

2

2017年 **9月7日(木)**

開演 19:00 / 終演(予定) 20:30

会場: space&café ポレポレ坐 東京都中野区東中野4-4-1-7F

出演: うたとお話し
小室 等

(音楽家、糸賀一雄記念賞音楽祭プロデューサー)

×

きたやまおさむ

(精神科医、臨床心理士、作詞家)

2017年 **10月5日(木)**

開演 19:00 / 終演(予定) 20:30

会場: 新東京會館 東京都杉並区阿佐谷南1丁目34-6

出演: うたとお話し
小室 等

(音楽家、糸賀一雄記念賞音楽祭プロデューサー)

×

谷川賢作

(作/編曲 ピアノ)

入場無料
(要予約)

9/7 定員60名 10/5 定員100名

事前のお申し込みが必要です。
裏面のお申し込み先にてご予約ください。
※各会場とも定員になり次第受付を
締め切らせていただきます。

主催: 特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク

共催: 公益財団法人糸賀一雄記念財団

障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会



障害者の芸術表現の魅力 ～アール・ブリュット、その源流を辿る～

「2017ジャパン×ナントプロジェクト」の源流は、戦後間もなく糸賀一雄らが滋賀県に創設した近江学園の実践につながる。時を経て受け継がれるものはなにか?!
こんなお話しを交えながら、「2017ジャパン×ナントプロジェクト」で発表される、日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展の出展作品や舞台作品の魅力、そして障害者の芸術表現の魅力を、小室等が二人のアーティストを迎えて紐解きます。

お申込方法

下記のお申込先にメールもしくはお電話にて、お名前、参加人数、ご連絡先を添えてお申込みください。

お申込先:

特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク 全国巡回プロジェクト事務局 [担当:水流(つる)]

○メールでのお申込(メールアドレス):
tsuru-motohiko@nifty.com

○電話でのお申込:
TEL:080-1733-8060

お問合せご連絡先

障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会 事務局
社会福祉法人グロー(GLOW)
[担当:西川]

メールアドレス:
nishikawa-kenji@glow.or.jp
TEL:0748-46-8100
FAX:0748-46-8228

2017ジャパン×ナントプロジェクトとは

このプロジェクトは、文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、ナント市の文化施設「フランス国立現代芸術センター“リュウ・ユニック”」、「ナント国際会議センター“シテ・デ・コングレ”」の主催の主催より日本の障害者の優れた文化芸術をナント市から世界に発信するプロジェクトです。

国内の42名の作者が出展する、日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展や障害のある人による舞台芸術公演が行われます。公演の内容は、いわみ福祉会芸能クラブ(島根県)による石見神楽、瑞宝太鼓(長崎県)による和太鼓演奏、湖南ダンスワークショップ(滋賀県)のコンテンポラリーダンス、じゆう劇場(鳥取県)による演劇です。また、学術的なシンポジウムの開催、バリアフリー映画の上映など、過去にあまり例を見ない多彩な内容となっています。 <http://nantes.art-brut.jp>



ナビゲーター 9/7&10/5



小室等

音楽家
糸賀一雄記念賞音楽祭プロデューサー
<http://office-khys.com/>

ゲスト 9/7(木)
(@space&Cafeポレポレ坐 東中野)



きたやまおさむ

精神科医、臨床心理士、作詞家

ゲスト 10/5(火)
(@新東京会館 阿佐ヶ谷)



谷川賢作

作/編曲 ピアノ

1968年:グループ「六文銭」を結成。

1971年:第2回世界歌謡祭にて「出発の歌」(上條恒彦+六文銭)でグランプリを獲得。

1975年:泉谷しげる、井上陽水、吉田拓郎と「フォーライフレコード」を設立。

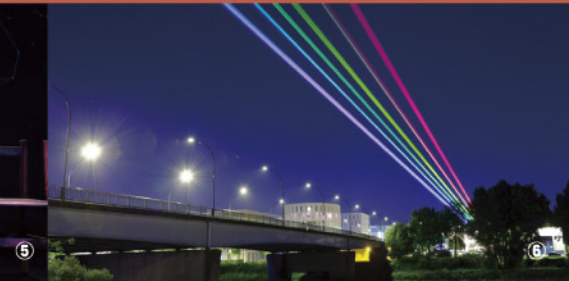
現在は自身のライブ・コンサートを中心に、様々なジャンルのミュージシャンとのコラボレーションやイベントプロデューサーも多数。また娘であるこむろゆい(vo,ukulele)との「Lagniappe」、「六文銭'09」など、ユニットでの活動の他、テレビドラマ、映画、演劇などの音楽制作、ドキュメンタリー作品のナレーションなど、その活動は多岐にわたる。

2011年7月11日には、「音楽活動50周年ライブ～復興～」を全労済ホール スペース・ゼロにて行う。(ライブを収録したアルバム、FLMEより発売)。また、糸賀一雄記念賞音楽祭の総合プロデューサーを務め、障害者の芸術表現の可能性を切り拓く活動を精力的に行う。

1946年淡路島生まれ、1972年、京都府立医科大学卒業。ロンドン大学精神医学研究所にて2年研修後、北山医院(現南青山心理相談室)院長を経て、2010年春まで九州大学大学院人間環境学研究院・医学研究教授。現在は、九州大学名誉教授。そして今も臨床活動が主な仕事。マスメディアでは、「帰って来たヨッパライ」でデビュー、作詞家としての代表作は「戦争を知らない子供たち」、「あの素晴らしい愛をもう一度」など。主な著書に、『みんなの精神科』(講談社1997)、『北山修/きたやまおさむ 百歌撰』(ヤマハミュージックメディア2008)、『ビートルズを知らない子どもたちへ』(アルテスパブリッシング2009)、『帰れないヨッパライたちへ』(NHK出版)。専門書としては編著『共視論』(講談社2005)、『劇的な精神分析入門』(みすず書房2007)、『日本人の(原罪)』(講談社2009)、『最後の授業』(みすず書房2010)、『覆いをとること・つくること』(岩崎学術出版社)、『評価の分かれるところに』(誠信書房)など多数。

10月29日曜日に東京の中野サンプラザホールにて、アカデミックシアター「歌詞で振り返る歌と人生」を開催する。

1960年東京生まれ。ジャズピアノを佐藤允彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」ハーモニカ奏者鏡木力とのユニット「パリアーソ」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。80年代半ばより作・編曲の仕事をはじめ、映画「四十七人の刺客」「竜馬の妻とその夫と愛人」NHK「その時歴史が動いた」テーマ曲等。88、95、97年に日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。近年では、06年びわ湖ホール制作「雷の落ちない村」の音楽監督(コンサートライブCD「雷の落ちない村」13年7月にリリース)ピアニスト錦野泉に組曲「スケッチ・オブ・ジャズ」を献上。画家、山本容子の絵とエッセイで綴る「Jazzing」の音楽プロデュース。兵庫県立芸術文化センター制作の音楽劇「赤毛のアン」富山県文化振興財団委嘱作品「少女のための交響詩 ～めざめる羽 はばたく四季～」(作詩/党和歌子)2009年3月初演。金沢ジュニアオペラスクール第二期音楽監督。兵庫県立ピッコロ劇団「星つむぎの歌」「ピッコロ版・星の王子さま」映画「カミハテ商店」(2013おおさかシネマフェスティバル音楽賞受賞作品、監督・山本起也) 2015年度船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザー。最新刊「パリアーソ・谷川賢作曲集」最新CDはDiVa「うたがうまれる」(TRBR-0016) 音楽を担当した最新映画「袴田巖 夢の間の世の中」(監督・金聖雄)16年2月公開。



- ① ⑥ 文化芸術創造都市 フランス・ナント市
- ② 石見神楽(いわみ福祉会芸能クラブ/島根県)
- ③ 瑞宝太鼓(長崎県)
- ④ 湖南ダンスワークショップ(滋賀県)
- ⑤ じゆう劇場(鳥の劇場/鳥取県)